

(様式第2号)

## 協働推進モデル事業計画書（本提案用）

(記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。)

提案団体名	団体名	NPO法人だっぴ (担当者 柏原 拓史)			
	合同提案団体	(協力団体として) NPO 法人チャリティーサンタ岡山支部・・・大学生の募集、サポート			
協働する岡山市の 担当課等と担当者.	課名	教育委員会事務局指導課	電話	086-803-1592	
	担当者 2名	職名	室長	職名	指導副主査
		氏名	服部道明	氏名	永井正博
	課名	教育委員会生涯学習課	電話	086-803-1606	
	職名	課長補佐			
	氏名	安東信哉			
提案事業の名称	中学生が地域の大学生、保護者と交流するキャリア教育授業のモデル化				
提案事業の目的	中学生が、地域の大人（保護者）や大学生と交流することで、自身の自己効力感を高めるようなキャリア教育プログラムのモデル化を行い、学校や地域社会に展開させていくこと				
解決をはかりたい課題の緊急性・重要性等（市民ニーズ含む）  ※ニーズ把握等で行った調査資料等がある場合は添付してください。	<p>1. 解決をはかりたい課題と現状</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中学生の他者とのつながりや関わりの不足</li><li>・様々な価値観・職業観に触れる機会の少なさ</li><li>・中学生の自己肯定感が低く、夢や目標を持っていない。</li><li>・学校教育の中で、自分の考えを人に伝える機会が少ない。</li></ul> <p>2. 市民ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校教育への関わりを増やしたい、知りたい。</li><li>・安心安全な地域社会の形成</li><li>・若者の社会参画、地元への定着や愛着の増加</li></ul> <p>3. 課題解決の方策</p> <p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中学生が、自分たちの地域で活躍する大人（保護者）の多様な価値観を知り、地域や社会への興味関心を高めること</li><li>・中学生が、生き生きと語りかけてくれる大学生の言葉を聞き、少し先の目標を持つこと</li><li>・大人（保護者、大学生）一人一人が、子どもたちにとっての教師として参加することにより、地域の学校教育に対する興味関心を高めること</li><li>・中学生が、授業を通して話したり聞いたりした言葉で「心に火を灯し」、次の自分の行動に移す動機を得ること</li></ul> <p>(方策)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・若者が魅力的な大人の背中を見る機会を地域の文化として形成していくことに取り組む。とりわけ、本事業では、上記1に記載したような中学生の課題と現状に対し、当事者である中学生が、自分の親や先生以外の地域の魅力的な大人と出会い、交流する場を設けることに取り組む。</li><li>・取り組み方として、地域の大学生が斜めの関係として関わり、サポートすることで、中学生に身近な自身の将来の姿を意識してもらおうと共に、メンター的に大学生が関わることで大学生自身の地域貢献意識を高めるなど、双方の自己肯定感を高めるようにする。</li><li>・上記のような地域の“人”が関わるキャリア教育をモデル化し、社会教育として学校現場に示すことで課題解決の方策を探る。</li></ul>				

<p>協働の必要性 及び効果と目標  (協働の役割分担を 含む)</p>	<p>1. 協働の必要性と相乗効果</p> <p>今後、地域課題は益々複雑化し、解決が難しくなっていくと言われている。そのような時代において、課題を解決し地域を創っていける人材を育てるためには、若者が様々な年代の人と関わりを持つ機会が社会教育の中で確保されていくことが必要と言える。</p> <p>当法人は、そのような機会創出に取り組んでおり、若者が困難に際したとき、諦めるのではなく自ら選択し、チャレンジしていけるような社会作りを行っている。しかしながら、私たちだけでは、創出できる機会は限られており、より多くの子もたちに多くの機会を継続的に届けていくことができない現状がある(時間的にも組織力的にも)。</p> <p>一方で、行政においては、様々な事業を限られた人員で行う中、変化し複雑化していく課題に柔軟かつスピーディに対応した施策の展開が十分に行えない面もある。</p> <p>そこで、当法人の持つ専門的な知見と実績と行政の社会教育上の施策とが合わさることで、これまでにない取組の幅と展開を生むことができると考える。 (以上を整理した協働の必要性と相乗効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会教育として必要性が認識されているキャリア教育について、NPOによる活動だけではその波及に多くの時間がかかる</li> <li>・ 一方で、行政施策としてのキャリア教育施策は早急な施策充実と展開が求められているが、新しい知見が行政単独では不足しがちな面がある</li> <li>・ NPO 法人には、県内外で展開してきた知見が備わっている</li> <li>・ 上記の双方の強みを合わせ、協働することで、それぞれが個別に取り組むよりも早期に施策の充実が図られる可能性が高まると思われる</li> </ul> <p>2. 提案団体が果たす役割</p> <p>事業全体の企画とコーディネート、参加者の学びと気づき、繋がりが深まるようなプログラム作成と当日までの準備および当日を含めた運営を担う</p> <p>3. 岡山市の担当課等が果たす役割</p> <p>中学校への依頼協力、事業普及啓発の為にチラシを中学校や関係機関へ配布、PTA への説明と依頼協力、募集告知、活動結果の広報、教育プログラムの協働作成</p> <p>4. 期待する事業成果・目標値等 (教育現場で展開できるキャリア教育モデルを提示する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のPTA(保護者)と大学生が連携した形で中学生へのキャリア授業のモデルを示し、今後、教育現場で展開されていくことを目標とする</li> </ul> <p>(中学生の意識の変化をアンケートにより把握する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加中学生には、参加前と参加後で岡山っ子育て条例に掲げられている「市民協働による自立する子どもの育成」に必要な3要素「豊かな人間性」「自分を高める」「共に生きる」についての変化を把握するためのアンケートを実施してその効果を定量的に把握する。その上で、プログラムの内容と効果を評価して今後の教育現場への展開に適した内容に修正していく。</li> </ul> <p>(大学生に対し)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の役に立ちたい、人の役に立ちたいという大学生は多いが、地域の中でのその存在感を示す機会は少なく、今回の事業で中学生のメンターとしての役割を果たすことで地域社会へ参画していく経験を積んでもらい、地域の人的資源の向上につなげる(生涯学習効果)</li> </ul> <p>5. 今後の展開目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今期は、中学校の教育現場が取り組むことができるキャリア授業モデルと体制を教育委員会と協働してつくることを目標とし、来期以降はそのモデルの現場展開を図っていくことを目標とする。市が掲げる岡山っ子育て条例に基づく事業として活用されること、中学生の意識変化に効果があり、市内中学校で展開されていくことを最終目標として取り組む。</li> </ul>
--	---

<p>事業の内容</p>	<p>中学生と地域の大人や大学生が生き方や仕事、勉強の意味などについて本気で語り合う交流会を以下の要領で開催すると共に、実施結果を教育関係者に広く啓発する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大人としての保護者等（PTA、地域人材、企業）との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記交流会の大人として、中学生の親である保護者を中心に呼びかけ参加してもらう</li> <li>・呼びかけに際しては、教育委員会と共に PTA などに趣旨と目的を丁寧に説明し、協力を依頼する（理解してもらった上で参加、協力してもらうことを重視する）</li> </ul> </li> <li>2. 大学生との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の大学生に呼びかけ、中学生のメンター的な役割で参加してもらう。</li> <li>・大学生には、中学生に学びと気づきが起きよう、NPO 法人だっぴの事前講習を受講してもらう</li> </ul> </li> <li>3. 広報（実施校への呼びかけ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施について、教育委員会と協力してモデル実施校の募集と決定を行う。（前年度のニーズ調査結果を踏まえる）</li> <li>・事業の実施結果は、報告書として整理し HP 等で公開する</li> </ul> </li> <li>4. 当日のプログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>【開催時期】 平成 28 年度中に 5 校での実施を予定 （土曜授業などとの連携を検討する）</li> <li>【時間】：1 時間半～2 時間</li> <li>【場所】：モデル校</li> <li>【プログラム（案）】 中学生と保護者、大学生が働き方をテーマにした交流プログラムとし、詳細は、学校へのニーズ調査などを踏まえて教育委員会と協議しながら作成する</li> <li>【対象例】 1 クラス 30 人の場合 （1 グループ：中学生 5 人、保護者 2 人、大学生 2 人）×6 グループ クラスごとに、保護者 12 名、大学生 12 名の協力が必要となり、 3 クラスでは、保護者 36 名、大学生 36 名の協力が必要となる。</li> </ul> </li> <li>5. 取組内容の普及活動 事業の取組内容を県内に広く PR し、キャリア教育に取り組む教育現場に参考としてもらうために、活動内容のパンフレットを作成し、教育委員会と協力して必要とする学校等に配布する。</li> </ol>
<p>事業の実施体制</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総括責任者 柏原 拓史（代表理事）</li> <li>2. 個別事業責任者 河原 彩花（事務局スタッフ） 紺谷 遼太郎（大学生リーダー）</li> <li>3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ NPO 法人だっぴ <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生、高校生と社会人との交流事業の実施（約 5 年）</li> <li>・自己肯定感が向上するような交流プログラム</li> </ul> </li> </ol>

事業スケジュール	ワーク	タスク	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
事業スケジュール	(1) 中学校ニーズ調査	ヒアリング項目の作成																		
		ヒアリング依頼校の選定																		
		ヒアリングの依頼⇒実施																		
		ヒアリング結果の分析																		
	(2) 実施校の決定	市教委協議のもと、依頼校を決定																		
		実施候補への依頼																		
	(3) 学校との関係および開催	実施校の決定																		
		事前協議、説明																		
		PTA説明																		
	(4) 学生キャストの募集・教育・組織化	授業実施																		
		協力依頼先のリストアップ																		
		大学への協力依頼																		
その他、関係機関への協力依頼																				
(5) 実施プログラムの作成	連携学校の募集、確立																			
	データベース整備																			
	募集チラシ作成																			
	募集説明会の開催																			
(6) 広報	キャスト講習会の実施																			
	先進事例の経費																			
(6) 広報	本番プログラムの作成																			
	実施校との関係																			
	メディア向け込み																			
	委員会での説明																			
実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割	名称	期待される役割																		
	各大学や大学コンソーシアム	授業連携																		
	岡山市PTA協議会・単位PTA	参加する保護者枠の募集、呼びかけ																		
	岡山県教育委員会	事業の後援など																		
事業の展望及び今後の活動展開	<input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。 <input checked="" type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としていくことを期待する。 <input type="checkbox"/> 次年度以後も協働での実施を希望。 <input type="checkbox"/> その他 ( )																			
	具体的な目標（計画）があれば記載してください。 (2016年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今期は、中学校の教育現場が取り組むことができるキャリア授業モデルを市教育委員会と協働してつくることと多くの学校で開催できる体制を作ることとを目標とする。</li> <li>・ そのために、全国で地域と連携したキャリア教育事業を展開するNPO法人等の知見も参考にしながら体制作りを行うと共に、プログラムの汎用性を高める</li> <li>・ 実際に市内の中学校でモデル的に実施する学校を募集し、教育委員会とNPOの協働事業として実施する</li> <li>・ アンケートにより把握した教育効果等からプログラム自身のブラッシュアップを行いつつ、教育現場での展開方法を教育委員会と一緒に検討する</li> <li>・ 実施結果についてふり返りと改善を行い、より教育現場が取り組みやすく、効果が期待出来るプログラムへの修正等を行う</li> <li>・ 実施展開にあたって、岡山っ子育成条例を考慮したものとする</li> </ul> (2017年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が掲げる岡山っ子育成条例に基づく事業として活用されるプログラムが完成されており、市内中学校への発信が行われている状況を目指す</li> </ul>																			

※詳細は別紙参照

## 協働事業収支予算書

<b>提案事業名</b>	中学生が地域の大学生、保護者と交流するキャリア教育授業のモデル化
--------------	----------------------------------

## &lt;収入&gt;

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体	292,000	
	自己資金		
	合同提案団体負担金等		
自己資金等合計(a)		292,000	
事業収入見込			
	事業収入見込合計(b)		
岡山市補助金申請額(c)		1,168,000	
収入合計(d) = (a) + (b) + (c)		1,460,000	

## &lt;支出&gt;

費目		金額	内訳
事業実施経費	会場費	0	
	広報費(チラシ、ポスター作成)	50,000	キャスト募集チラシ、ポスター印刷 東京往復交通宿泊費 40,000円×5人
	視察費(先進事例NPO)	200,000	
	啓発パンフレット作成費	150,000	
	バスレンタル	100,000	
	謝金	100,000	データベース登録、ボランティア謝金 記録カメラマン、マイクロバス運転手
事業実施経費合計(e)		600,000	
管理運営経費	人件費	760,000	1,000円×8h/日、95人日、 スケッチブック 200円×500個
	消耗品費	100,000	
管理運営費合計(f)		860,000	
総事業費(g) = (e) + (f)		1,460,000	※収入合計(d)と同額

- (添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること  
2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること